

# フィールド風

(現場)からの

宮田守男

12月上旬、白馬町の飲食店の二室で行われた謡曲の謡い仕舞いに参加する。謡曲は、中世の時代から引き継がれている日本の伝統文化である能の世界。

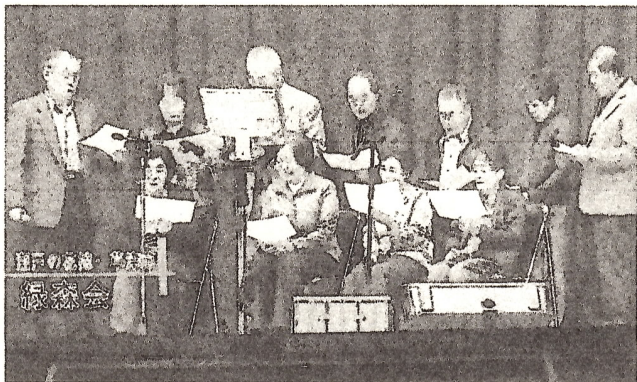
観世流を60年以上謡い続けている長谷川寿男さんに指導いただき、謡い仲間が集まる。長谷川さんに謡曲との出会いを尋ねると、千葉県松戸で戦争の空爆を逃れた防空壕の中で心に訴えた謡曲「鞍馬天狗」に引かれたと話す。容赦ない油入り焼夷弾が、街を焼き尽くし「生きた、心地がない」、「何であんな事になったのか」と戦争はダメと語り続ける長谷川さんにとって謡曲は心の支え

## 文化に興味を抱き、自らが挑戦する

今年、謡曲の一節を集めた小謡本で練習。実際の能の上演脚本とはいいたいが、江戸時代は寺子屋の教科書にもなるほど普及したものだ。謡曲は歴史教本、数々の物語を肴に美酒を酌み交わし、各々が謡曲を披露。練習時間も限られ、出来栄えはともかく大いに盛り上がる。伝統文化を次の世代に謡い続けなくては、来年の挑戦

## 楽しさを実感してみませんか

- 一番…白馬良いとこ 皆でおいで ドッコイ ショ 山じゃ スキーも コウリヤ 楽しーめるよ チョイナ チョイナ
- 二番…山もきれいだ 住んでる人も ドッコイ ショ 心優しい コウリヤ 親切(せし)つだよ チョイナ チョイナ
- 三番…山も美し 温泉多い ドッコイ ショ 湯舟 つかりて コウリヤ 雪景(けい) 見える チョイナ チョイナ
- 四番…外湯 つかりて 青空見れば ドッコイ ショ 白馬連峰 コウリヤ 目の前(まへ) マーエだよ チョイナ チョイナ
- 五番…チョイナ チョイナはどこからは やる ドッコイ ショ 白馬三山 コウリヤ 温泉(せう)だよ チョイナ チョイナ



ケープルテレビ白馬で放映される地区シニアメンバーの笑顔が、歌によって続いてほしいと願う

を再確認する。ケープルテレビ白馬で放映されている、白馬村シニアクラブ芸能祭で披露された「草津節」の替え歌、「白馬節」。九十三歳の我が家の母(宮田富貴子)が作詞を担当、話題たど聞かされ嬉しくなる。

90歳を超えてもカラオケを楽しみ、毎日の出来事を文脈で表現し続ける母の姿は、本当に楽しそうに家族の目からも驚きに見える。来事でもあった。(N PO 法人信州地域社会フォーラム 理事・白馬村森上)